

立命館大学人間科学研究所
創立20周年企画

連続講座

「危機と人間科学」(全5回)

立命館大学人間科学研究所は2000年4月の開設以来、広く人間と環境に関するテーマについて、既にある学問領域(学範=ディシプリン)による研究、それらが共同して行う「学際的研究」、さらに様々な具体的社会課題の解決のために、新しい方法論を創造しつつ実践的な研究を行う「学融的研究」を行ってまいりました。近年は、学融的な研究の対象として「対人援助」という実践的課題を取りあげ、基礎と応用、個人と制度、そして大学と地域といった異なるセクターの機能的連携が可能となるような新たな学範(「対人援助学」)を追求しています。本年度創立20周年を迎える人間科学研究所はその記念事業として、連続講座、総会(2/27)を開催いたします。本連続講座においては、今般のコロナ禍や風水害、震災等の自然災害を含む様々な社会的危機に関わる実践的研究に関して、専門職、研究者のみならず大学院生、学部学生、一般市民のみなさまも対象とした情報交換・交流の機会としたいと考えておりますので是非ご参加ください。

2021年 1月より全5回開催

会場 オンラインと現地会場での併用開催です。現地会場は各回で異なります。

参加無料・要事前申込

【会場でのご参加は定員に達し次第締め切りいたします】

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での開催が困難である場合には、オンラインのみでの開催に移行する可能性があります。

◎お申込みは、人間科学研究所ホームページ応募フォームにてお願いいたします。
情報アクセス保障ご希望の場合は、お早めにその旨ご連絡をお願いいたします。



参加
無料

要事前
申込

【プログラム】

第1回 日時／ 1月9日(土) 14:00～15:00
会場／ オンライン・キャンパスプラザ京都
【テーマ】 ところのケアと文化
—被災地の文化とニーズに合わせたところのケアの工夫—
講師 吉 沅洪 (立命館大学大学院人間科学研究科教授)

第2回 日時／ 1月23日(土) 14:00～15:00
会場／ オンライン・朱雀キャンパス(1階 多目的室)
【テーマ】 危機と選択:「ことば」がもたらす禍福を再考する
講師 武藤 崇 (同志社大学心理学部教授)

第3回 日時／ 2月7日(日) 14:00～15:00
会場／ オンライン・衣笠キャンパス
(平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム)
【テーマ】 冤罪を晴らす科学-イノセンス-プロジェクトの可能性
講師 稲葉 光行 (立命館大学政策科学部教授)

【創立20周年メイン企画】
人間科学研究所20周年記念総会開催!
日時／ 2月27日(土) 詳細はホームページを
ご確認ください。

第4回 日時／ 2月23日(火・祝) 14:00～15:00
会場／ オンライン・朱雀キャンパス(1階 多目的室)
【テーマ】 児童期性虐待被害の修復とく時の壁>
講師 松本 克美 (立命館大学大学院法務研究科教授)

第5回 日時／ 2月23日(火・祝) 16:00～17:00
会場／ オンライン・朱雀キャンパス(1階 多目的室)
【テーマ】 身の回りにある多様性と排除～メンタルヘルスの視点から～
講師 鈴木 華子 (立命館大学総合心理学部准教授)

連続講座

「危機と人間科学」(全5回)



登壇者紹介



吉 沅洪 (きつ げんこう)

立命館大学大学院人間科学研究科教授。名古屋大学博士(教育心理学)。広島市立大学国際学部准教授を経て、2012年から立命館大学大学院人間科学研究科教授。専門は臨床心理学。表現療法とこころのケアに力を入れて心理臨床実践を行っている。



武藤 崇 (むとう たかし)

行動分析学(臨床心理学)専門。1998年筑波大学大学院心身障害学研究所心身障害学専攻修了、博士(心身障害学)、1998-2001年筑波大学心身障害学系技官・助手、2001-2010年立命館大学文学部および大学院応用人間科学研究科准教授、2007-2008年米国ネバダ大学リノ校心理学部客員研究教授、2010年-現在、同志社大学心理学部教授、2010-2019年同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター(WEST)センター長、2011-2015年東京大学医学部附属病院22世紀医療センター腎疾患総合医療学講座客員講師、2017年現在、名古屋市立大学医学部客員教授。主書/行動分析学事典(共編著)丸善出版2019年、臨床言語心理学の可能性：一公認心理師時代における心理学の基礎を再考する(編著)見洋書房2019年、55歳からのアクセプタンス&コミットメント・セラピー：超高齢化社会のための認知行動療法の新展開(編著)ratik2017年、応用行動分析から対人援助学へ：その軌跡をめぐって(共編著)見洋書房2016年、ケースで学ぶ行動分析学による問題解決(共編著)金剛出版2015年など。



稲葉 光行 (いなば みつゆき)

立命館大学政策科学部教授。専門は学習科学・情報科学。富士通、ハワイ大学、カリフォルニア大学サン・ディエゴ校でAIや認知科学の研究に従事。コンピュータによる供述分析をきっかけに司法の問題に関わり、2016年、科学の視点から司法判断の再検証を目指すイノセンス・プロジェクトの日本版として「えん罪救済センター」を設立、代表を務める。共著に『供述をめぐめる問題』(岩波書店)などがある。



松本 克美 (まつもと かつみ)

立命館大学大学院法務研究科教授。専門は民法、特に損害賠償請求権と時効、建築瑕疵責任論など。主著に『時効と正義』『続・時効と正義』(いずれも日本評論社)、共著に『法と心理学への招待』(有斐閣)など。ドイツ・フライブルク大学、フンボルト大学、ソウル大学で客員研究員。



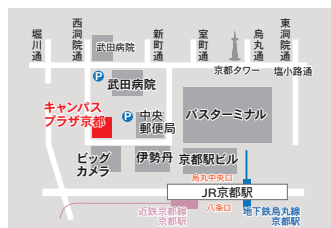
鈴木 華子 (すずき はなこ)

立命館大学総合心理学部准教授。ボストン大学、ボストンカレッジ大学院を経て、熊本大学大学院医学教育部修了。医学博士。筑波大学留学生センター助教として留学生支援に携わった後、2017年より現職。日本心理学会常務理事(国際・男女共同参画推進担当)。専門はカウンセリング心理学。多文化・多様性、マイノリティ、メンタルヘルスをテーマに研究している。

アクセス

キャンパスプラザ京都

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分



立命館大学朱雀キャンパス

- JR「二条駅」下車、徒歩約2分
- 京都市営東西線「二条駅」下車、徒歩2分
- 阪急「大宮駅」下車、徒歩約10分

朱雀キャンパスご来場には 公共交通機関をご利用ください

- ※専用駐車場がございませんので自転車・バイクでの来場もご遠慮ください。
- ※キャンパス内は全面禁煙です。
- ※メイン会場の席数には限りがございます。

